

食品ロス削減のための普及啓発

これまでの施策に係る意見や課題

富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県会議での意見

- ・当初に比べて啓蒙活動が進んできたこともあり、関心が高くなっている。
- ・ゼロカーボンに向かう動きの中で、食品ロス削減に取り組んでいくことは大変重要である。
- ・子どもを中心とした若い世代は学校等でSDGs等を勉強しているが、保護者には伝わっていないのが現状とを感じる。

若い世代への普及啓発

<目的・実施内容>

家庭由来の食品ロスについて、本県では「手付かず食品」の割合が大きいため、「食品ロス削減・フードドライブ推進」について、県内全域で啓発事業を実施することで、若い世代の理解を深め、家庭での取組みの促進を図る。

[重点的な普及啓発の例]

高等学校での食品ロス削減の啓発。外部講師として、食品ロス削減の取組みに関する出前講座を行う。

[対象] 県内4高校

[テーマ] 富山県における食品ロス対策の推進について

- ・富山県の食品ロスの現状
- ・県や事業者による食品ロス削減の取組み
- ・使いきり3015運動、フードドライブ、サルベージパーティ、商慣習の見直しへの理解など、身近でできる取組みの紹介



⇒ 高校生から「食品ロス削減・フードドライブ推進」の実践行動について、効果的なアイデアを募集。

優秀なアイデアを富山県消費者大会（10月7日）において表彰。

⇒ 優秀アイデア等を参考に、高校生が「食品ロス削減・フードドライブ」を実践する。

生徒の感想（抜粋）

- ・食ロスを減らすために家でできることから始めたい。
- ・冷蔵庫の中を確認して、余っている食品はフードドライブなどの活動に参加して食品ロスの削減に貢献していきたい。

令和4年度の主な取組み

「食べきり3015運動」推進と「食べきりサイズメニュー」導入促進

<目的>

宴会等での「食べきり3015運動」推進や、飲食店での「食べきりサイズメニュー」の導入促進を図り、外食産業における食品ロス削減につなげる。

<実施内容>

飲食店に協力店としての登録を募集し、ポスターや三角柱等の啓発資材の設置と来店者への呼びかけを依頼する。

[周知・募集]

- 新たな方法として、SNS (Twitter、Instagram、Facebook) を利用する。
- ・食品ロス削減の取組みを幅広く情報発信し、飲食店等の食品ロス削減への関心を高めるとともに、「食べきり」協力店の新規登録キャンペーンにより登録の募集を行う。
 - ・協力店として登録した飲食店をSNSで紹介する。協力店にとっては、企業イメージの向上や過剰生産・廃棄コストの軽減が図られる。



【食べきり3015運動ポスター】



【食べきりサイズメニューポスター】



【協力店募集チラシ】



【協力店登録応募フォーム】

今後に向けた取組みの方針

- ・食品ロス等削減のための取組みを実施する人の割合が他の世代よりも低い若年層への普及啓発を重点的に実施する。
- ・行政や関係団体、事業者の取組みを継続的に情報発信する。